

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	64	豊田市立 則定小 学校	代表	近藤かをる
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	「自らかかわり、つながり、学びを深める子の育成」 サブテーマ 魅力ある体験や交流を通して、豊かな感性や生き抜く力を育てる	分野 i(その他)は分野を右欄に記入	c	自然体験
学校づくりの視点へねらい	本校は自然環境に恵まれた里山の一角に位置し、児童は四季折々の動物や植物に接することができる。地域は学校への関心が高く、協力的であり、教育活動全般を支えていただいている。米作りや野菜作り、地域の方との交流や地域へ出かけての朗読訪問等の体験活動は、多くの地域講師の方の協力で行われ、児童は学びを深めている。自然体験を生かした活動や米作り、野菜作り、グリーンカーテン作り等は、校内整備員の支援を得て進めさせていく。 本校は、郷土の偉人「鈴木正三」誕生の地であり、本校の合言葉「真心こめて力いっぱい」は、鈴木正三の教えをわかりやすくまとめたものである。学校生活全体を通して、感謝や思いやりの心をもち、一生懸命に活動することをねらいとしている。正三の言葉を元に、毎月の活動にそった生活目標を決めて児童に示している。児童は、普段の生活を通して、正三の生き方を学んでいる。 これら多くの地域とかかわることで、視野を広め、違いに気づきながら、「自らかかわり、つながり、学びを深める子ども」に育っていく。感性豊かで、たくましく生きる力を育てて、自校や地域に誇りをもち、WeLove則定の意識を深めていく。			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・米作りや野菜栽培の体験を通して、働くことの大切さや喜びを体得する。 ・則定川や恩真寺湿地、ビオトープ等学校周辺の自然調査を行い、そこに住む生き物の飼育や調べ学習を通して自然への関心を高める。 ・郷土の偉人、鈴木正三について学び、その教えを自分たちの生活に生かす。また5、6年生が学芸会で正三劇を演じ、学んだことを発表する。 ・地域講師から栽培技術や生活の知恵を学び、生活・総合的な学習の時間発表会で学習成果を発表したり、感謝の気持ちを伝えたりする。 ・季節や行事、日常生活を題材とした一行詩づくりを通して、思いを伸び伸びと表現できるようにする。 ・こども園と連携した行事や交流活動を通して思いやりの気持ちをもたせる。 <p>【通年】 鈴木正三についての学習 花の栽培活動 こども園との交流学習 合同避難訓練 一行詩づくり 米・野菜づくり 自然観察や飼育</p> <p>【前期】 緑のカーテンづくり 運動会 全校児童による野菜作り体験、3・4年生中心による米作り体験、地域との交流会</p> <p>【後期】 園児を招いての交流会、生活科・総合発表会、地域の方への感謝の会</p>			
補助員配置	・校内整備員			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学区をあげて顕彰している郷土の偉人・鈴木正三の学習をすることにより、地域の歴史や文化に興味・関心をもち、地域に対する誇りと愛着をもつようになった。 ・自然体験や栽培活動を生かし、自然に親しむ姿勢が身に付いてきている。 ・多くの体験活動や自然とのふれあいから一行詩やスピーチ発表の中に自分の思いを豊かに表現している。 ・地域講師の指導による農業や栽培体験を通して、勤労の尊さや感謝の気持ち、「食」の大切さを学んでいる。 ・多くの地域の方と交流することにより、地域の一員であるという自覚が高まってきた。また、ホームページや学校だより等を通して、学校の取組を理解し、家庭の協力も広がりつつある。 ・他校との交流を通して、地域のよさを再確認し、郷土を大切に思う気持ちが育ちつつある。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科、総合的な学習の時間を中心に行なった発表や話し合いの様子、学習活動の状況、作文・作品等の制作物から総括的に評価し、検証する。 ・保護者を対象にした学校評価アンケートの結果、数値を前年度と比較することにより検証する。 ・活動の様子をホームページや学校だよりで保護者や地域の方に紹介し、アンケート等で検証する。 			